



ひなたのあかりの 療育プログラム

個別療育 運動療育 集団療育

1 学習への支援

一人ひとりのレベルに合わせた教材プリントを用意し、宿題とプラスαの学習を支援します。
長い時間座ってられない子どもたちには座る練習から、読み書きが苦手な子どもたちには、読み書きしやすくなる工夫をするなど、一人ひとりの苦手に寄り添って支援していきます。



2 食育活動

ひなたのあかりでは、管理栄養士の資格をもつ職員を中心に食育に取り組みます。
成長期には1日3回の食事では栄養が不足しがちです。
ひなたのあかりでは、おやつは大切な「第4の食事」とし手作りのおやつで必要な栄養を補います。
夏休みなどの長期休みには、食品工場見学や農業体験などを実施し、食に触れる機会を創出します。



3 参加スキルのトレーニング

ソーシャルスキル(社会技能)とは「人が社会で生きていく上で必要な技能」です。
お子様の負担になりにくい遊びや運動を通して、集団生活における表現の仕方などの社会性を自然に育みます。



4 脳バランサーキッズ

デジタル認知テスト「脳バランサーキッズ」を用いて、認知機能のアセスメントを行います。
定期的なアセスメントに基づき、お子様一人ひとりの発達の特長、偏りに合わせた支援を行います。



脳バランサーキッズとは？



デジタル認知テストを導入し、一人ひとりの得意・不得意を分析します。デジタルテストならゲーム感覚で楽しく取り組みます！



認知テストに基づく個別支援



認知機能の数値化とグラフ化
(発達指数・発達年齢)

学習特性の理解と対応策の考案
(教え方の工夫・環境調整)

周囲の理解による総合的な配慮
(家庭での保護者の方の支援・職員の協力)